

総合計画PDCAシート《令和元年度》

施策コード	基本目標	5	【都市基盤】 良好な都市基盤が整った便利で快適に暮らせるまち
5	2	2	道路・交通網の充実

目指すべきまちの姿 国道や県道、市道を中心とした道路ネットワークが充実し、鉄道やコミュニティバス等の公共交通の利用も進み、便利で安全・快適な移動手段が確保されています。

●主要施策と概要	この1年間の成果及び反省点	担当課	評価
(1) 都市計画道路の整備 ・都市計画道路穂波通線をはじめとする都市計画道路の整備を計画的、効率的に進めます。	・都市計画道路用地の取得を実施しました。今後も主要な都市施設として都市の健全な発展のために整備を進める必要があります。また、国や県が整備する都市計画道路については今後も要望活動を実施します。	土木課	A
(2) 都市計画道路の見直し ・社会・経済情勢の変化等をふまえ、都市計画道路の見直しを進めます。	・愛知県及び管内市町村と見直し時期等のスケジュールを調整・確認しました。令和2年度には都市計画道路の見直しに必要な図書を作成してまいります。	都市整備課	D
(3) コミュニティバスの利便性向上【重点施策】（再掲） ・市民生活に溶け込んだ移動手段を確保しながら、より効果的な運行体制にするため、地域公共交通網形成計画の見直しを行い、コミュニティバスの利便性の向上を図ります。	・令和2年度の地域公共交通網形成計画の改正に向けた調査や講演会、ワークショップを実施したことで市民等から意見を聞くことができ、コミュニティバスの改善点の抽出を行うことができました。この調査結果をもとに、地域公共交通網形成計画の見直しを行います。	市民協働課	B
(4) 地域高規格道路の整備促進 ・一宮西港道路の早期の事業化に向け、関係自治体で国や県等の関係機関に対して、引き続き要望してまいります。	・国土交通省中部地方整備局において、一宮西港道路を含む名古屋都市圏環状機能強化の検討に向けた予算が確保されました。今後も要望活動を実施します。	土木課	A
(5) 国・県道の整備促進 ・国道1号の4車線化及び桁下が低く、堤防が断面不足をしている尾張大橋の架け替えの早期事業化や名古屋第3環状線及び弥富名古屋線等の早期完了に向け、引き続き要望してまいります。	・国土交通省に対して4車線化及び尾張大橋の架け替えの要望を実施するとともに名古屋第3環状線の整備促進の要望も実施しました。今後も要望活動を実施します。	土木課	A
(6) 市道の整備 ・幹線道路の早期整備を進めるとともに、老朽化した道路施設を計画的かつ効率的に維持・管理します。	・予定どおり事業を実施しました。今後も市民生活の利便性並びに交通安全の向上のため道路整備を実施し、老朽化した道路を適切に維持・管理します。	土木課	A
(7) 橋りょうの維持管理 ・定期点検において早期に修繕が必要と診断された橋りょうについて、修繕の優先順位を定め、計画的な修繕を図ります。	・予定どおり事業を実施しました。今後は重要度と緊急性を総合的に判断し、優先順位の高い橋りょうから修繕を実施します。	土木課	A

●施策目標に対する市民満足度	単位	現状値 (2017年度)	目指す方向性	中間値 (2022年度)
道路交通網の整備	%	31.3	↗	
コミュニティバス交通網の整備（再掲）	%	10.7	↗	

●成果指標	単位	現状値	各年度の実績値					目標値 (目指す方向性)	
		(2017年度)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2028年度	
(1) 都市計画道路改良率	%	44.7	44.7				→	↗	
(6) 市道改良率	%	47.0	47.4				↗	↗	
(6) 市道舗装率	%	93.5	93.5				↗	↗	
(7) 橋りょう修繕箇所（累計）	橋	12	12				19	24	

事業No	実施計画に係る事業名	担当部署	必要度	達成度	施策貢献度	事業実施状況に関する所見
(1)	都市計画道路穂波通線街路整備事業	土木課	95	0.9	高	今後も現状（計画・予定）どおり事業を進めることが妥当と考えられます。
(3)	コミュニティバス運行事業（再掲）	市民協働課	70	0.7	中	事業内容や事業手法に改善を行う余地があります。より一層の効率化やコスト削減、成果向上に努める必要があると考えられます。
(6)	道路改良事業	土木課	95	0.9	高	今後も現状（計画・予定）どおり事業を進めることが妥当と考えられます。
(7)	橋りょう整備事業	土木課	100	0.9	高	今後も現状（計画・予定）どおり事業を進めることが妥当と考えられます。

施策の今後の方針 今後も、市民の安全性・利便性の向上を図るため、継続事業の都市計画道路穂波通線及び中央幹線道路等の幹線道整備や狭あい道路整備を行っていく必要があります。また、道路施設の老朽化に対しては、弥富市道路舗装修繕計画や橋梁長寿命化修繕計画及び個別施設計画に基づき、計画的かつ効率的に修繕を行い維持管理に努める必要があります。

第2次総合計画・実施計画事業評価シート

事業No	実施計画に係る事業名	課	グループ	作成日
(1)	都市計画道路穂波通線街路整備事業	土木課	土木グループ	令和2年6月5日

■総合計画の位置づけ

基本計画	基本目標	5	【都市基盤】 良好な都市基盤が整った便利で快適に暮らせるまち	重点施策
	施策目標	2	道路・交通網の充実	
	主要施策	1	都市計画道路の整備	
	主要事業		都市計画道路穂波通線街路整備事業	

■事業内容

事業目的	都市計画道路の整備を計画的、効率的に進め、自動車交通の円滑化及び歩行者の安全確保を図ります。	主な協働・関連団体等	
事業概要	都市計画道路穂波通線の整備を計画的に進めます。	関連する個別計画・根拠法令等	
事業の開始・終了	開始年度	年度	終了年度

■事業費(単位:千円)

	2019年度(実績)		2019年度(計画)		2020年度(計画)		2021年度(計画)	
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)
事業内訳	補償金	11,117	補償金	12,000	補償金	5,000	補償金	4,000
	(補助額)	4,300	(補助額)	6,000	(補助額)	2,500	(補助額)	2,000
	土地購入費	3,486	土地購入費	4,000	土地購入費	4,700	土地購入費	2,800
	(補助額)	1,700	(補助額)	400	(補助額)	2,000	(補助額)	1,000
	委託料	1,540	委託料	1,900			不動産鑑定料	500
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	街路工事請負費	987	街路工事請負費	1,000				
(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)		
不動産鑑定料	216	不動産鑑定料	300					
(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)		
事業費(直接経費)	17,346	事業費(直接経費)	19,200	事業費(直接経費)	9,700	事業費(直接経費)	7,300	
(補助額)	6,000	(補助額)	6,400	(補助額)	4,500	(補助額)	3,000	

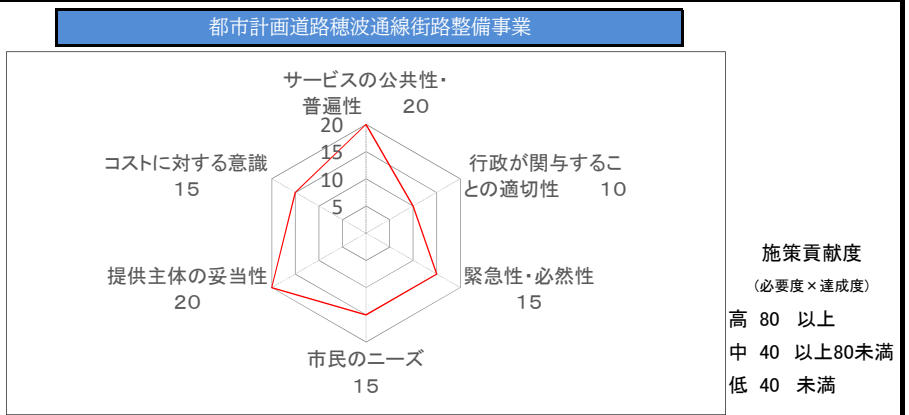
成果指標	単位	現状値	各年度の実績値					目標値(目指す方向性)	
		(2017年度)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2028年度	
(1) 都市計画道路改良率	%	44.7	44.7					→	↗
(6) 市道改良率	%	47.0						↗	↗
(6) 市道舗装率	%	93.5						↗	↗
(7) 橋りょう修繕箇所(累計)	橋	12						19	24

指標の分析 2019年の主な事業内容は用地の取得のため都市計画道路改良率の変化はありませんでした。今後も都市の健全な発展のため、事業の推進に努めます。また、国や県が整備する都市計画道路については整備促進のための要望を行っていきます。

■事業の評価

サービスの公共性・普遍性	行政が関与することの適切性	緊急性・必然性	市民のニーズ	提供主体の妥当性	コストに対する意識	配点
評価の選択 ①	評価の選択 ③	評価の選択 ②	評価の選択 ②	評価の選択 ①	評価の選択 ②	
①原則として全市民に提供されており、日常生活に欠かせないサービス	①法令・条例・規則等により実施が義務付けられている事務・事業	①災害等緊急事態への対応、首長のマニフェストなどにより最優先で実施するべきと考えられる事務・事業	①議会や市民から要望が強く早期に実施する必要がある	①公権力の行使に当たるなど、市が自ら実施すべき事務・事業	①必要最低限の経費で取り組んでおり、成果の向上が図られている事務・事業	20
②原則として全市民に提供されるサービスであるが、日常生活では選択の可能性があるサービス	②国、県、市等の共同実施による事務・事業	②日常的に安全・安心な生活を確保するために、優先的に実施すべきと考えられる事務・事業	②時代の変化とともに市民のニーズが増加している	②事業の一部を民間委託しており、適切に運営されている事務・事業	②コスト削減の余地がない事務・事業	15
③一定の個人や団体等に提供され、日常生活に欠かせないサービス	③民間では実施できない、または民間では実施していない事務・事業	③現時点での緊急性や切実度は低いものの、将来のために現在から実施した方が良いと考えられる事業	③市民のニーズが維持傾向であり、安定的にある	③事業の一部または全部を民間委託した方が市場性・効率性からも良いと考えられる事務・事業	③事務の効率化・改善に取り組んでおり、今以上のコスト削減が難しい事務・事業	10
④一定の個人や団体等に提供されるサービスであるが日常生活では選択の可能性があるサービス	④民間に同様または代替できるサービスがあるが、質・量等が不足するため、これを補完する事務・事業	④時代の変化などにより現在では実施しなくても良いと考えられる事務・事業	④時代の変化等により市民のニーズが減少傾向であり、事務・事業に対する要望や要求が顕著とはいえない	④事業の一部または全部を民間委託すべきと指摘や検討がされているものの、委託に至っていない事務・事業	④例年規模の予算計上をほぼ継続している事務・事業	5

サービスの公共性・普遍性	20
行政が関与することの適切性	10
緊急性・必然性	15
市民のニーズ	15
提供主体の妥当性	20
コストに対する意識	15
評価点	95
必要度	95
達成度	0.9
施策貢献度	高



事業実施状況に関する所見		その他
課長	今後も現状(計画・予定)どおり事業を進めることが妥当と考えられます。	

第2次総合計画・実施計画事業評価シート

事業No	実施計画に係る事業名	課	グループ	作成日
(3)	コミュニティバス運行事業（再掲）	市民協働課	交通防犯グループ	令和2年6月9日

■総合計画の位置づけ

基本計画	基本目標	5	【都市基盤】 良好な都市基盤が整った便利で快適に暮らせるまち	重点施策
	施策目標	2	道路・交通網の充実	
	主要施策	3	コミュニティバスの利便性向上	○
	主要事業		コミュニティバス運行事業	

■事業内容

事業目的	通学・通勤から通院や買い物など、市民生活利便性の向上、高齢者を始めとする交通弱者の移動手段の確保をしながらより効率的な運行をします。	主な協働・関連団体等	弥富市地域公共交通活性化協議会		
事業概要	設定した3ルートにおいて、きんちゃんバスを運行します。 ・北部ルート2台 ・南部ルート2台 ・東部ルート1台	関連する個別計画・根拠法令等	弥富市地域公共交通網形成計画		
事業の開始・終了	開始年度	2012	年度	終了年度	年度

■事業費(単位:千円)

	2019年度(実績)		2019年度(計画)		2020年度(計画)		2021年度(計画)	
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)
事業内訳	弥富市地域公共交通活性化協議会負担金	97,117	弥富市地域公共交通活性化協議会負担金	104,200	弥富市地域公共交通活性化協議会負担金	124,200	弥富市地域公共交通活性化協議会負担金	122,300
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	飛島公共交通バス運行費負担金	1,000	飛島公共交通バス運行費負担金	1,000	飛島公共交通バス運行費負担金	1,000	飛島公共交通バス運行費負担金	1,000
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	弥富市地域公共交通活性化協議会委員報償費	160	弥富市地域公共交通活性化協議会委員報償費	300	弥富市地域公共交通活性化協議会委員報償費	300	弥富市地域公共交通活性化協議会委員報償費	300
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
その他(役務費等)	62	その他(役務費等)	94	その他(役務費等)	94	その他(役務費等)	94	
(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)		
(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)		
事業費(直接経費)	98,339	事業費(直接経費)	105,594	事業費(直接経費)	125,594	事業費(直接経費)	123,694	
(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0	

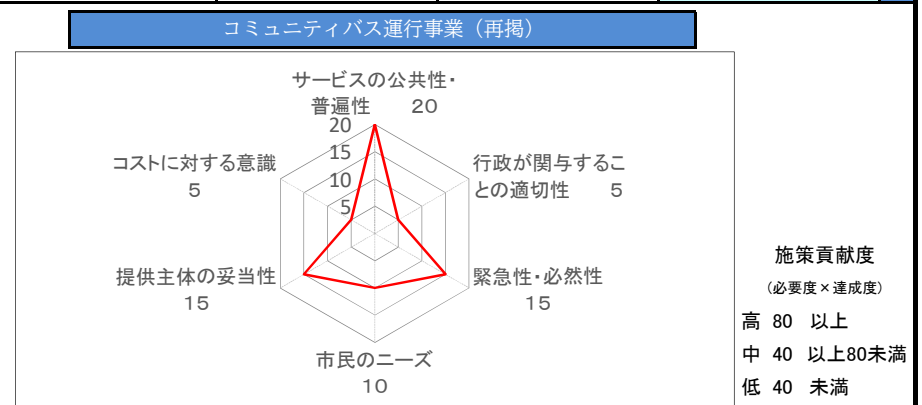
成果指標	単位	現状値	各年度の実績値					目標値(目指す方向性)	
		(2017年度)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2028年度	
(1) 都市計画道路改良率	%	44.7						→	↗
(6) 市道改良率	%	47.0						↗	↗
(6) 市道舗装率	%	93.5						↗	↗
(7) 橋りょう修繕箇所(累計)	橋	12						19	24

指標の分析

■事業の評価

サービスの公共性・普遍性	行政が関与することの適切性	緊急性・必然性	市民のニーズ	提供主体の妥当性	コストに対する意識	配点
評価の選択 ①	評価の選択 ④	評価の選択 ②	評価の選択 ③	評価の選択 ②	評価の選択 ④	
①原則として全市民に提供されており、日常生活に欠かせないサービス	①法令・条例・規則等により実施が義務付けられている事務・事業	①災害等緊急事態への対応、首長のマニフェストなどにより最優先で実施すべきと考えられる事務・事業	①議会や市民から要望が強く早期に実施する必要がある	①公権力の行使に当たるなど、市が自ら実施すべき事務・事業	①必要最低限の経費で取り組んでおり、成果の向上が図られている事務・事業	20
②原則として全市民に提供されるサービスであるが、日常生活では選択の可能性があるサービス	②国、県、市等の共同実施による事務・事業	②日常的に安全・安心な生活を確保するために、優先的に実施すべきと考えられる事務・事業	②時代の変化とともに市民のニーズが増加している	②事業の一部を民間委託しており、適切に運営されている事務・事業	②コスト削減の余地がない事務・事業	15
③一定の個人や団体等に提供され、日常生活に欠かせないサービス	③民間では実施できない、または民間では実施していない事務・事業	③現時点での緊急性や切実度は低いものの、将来のために現在から実施した方が良いと考えられる事業	③市民のニーズが維持傾向であり、安定的にある	③事業の一部または全部を民間委託した方が市場性・効率性からも良いと考えられる事務・事業	③事務の効率化・改善に取り組んでおり、今以上のコスト削減が難しい事務・事業	10
④一定の個人や団体等に提供されるサービスであるが日常生活では選択の可能性があるサービス	④民間に同様または代替できるサービスがあるが、質・量等が不足するため、これを補完する事務・事業	④時代の変化などにより現在では実施しなくても良いと考えられる事務・事業	④時代の変化等により市民のニーズが減少傾向であり、事務・事業に対する要望や要求が顕著とはいえない	④事業の一部または全部を民間委託すべきと指摘や検討がされているものの、委託に至っていない事務・事業	④例年規模の予算計上をほぼ継続している事務・事業	5

サービスの公共性・普遍性	20
行政が関与することの適切性	5
緊急性・必然性	15
市民のニーズ	10
提供主体の妥当性	15
コストに対する意識	5
評価点	70
必要度	70
達成度	0.7
施策貢献度	中



事業実施状況に関する所見		その他
課長	事業内容や事業手法に改善を行う余地があります。より一層の効率化やコスト削減、成果向上に努める必要があると考えられます。	市民のニーズを捉え、ルートの見直しやダイヤ改正などを計画していきます。

第2次総合計画・実施計画事業評価シート

事業No	実施計画に係る事業名	課	グループ	作成日
(6)	道路改良事業	土木課	土木グループ	令和2年6月5日

■総合計画の位置づけ

基本計画	基本目標	5	【都市基盤】 良好な都市基盤が整った便利で快適に暮らせるまち	重点施策
	施策目標	2	道路・交通網の充実	
	主要施策	6	市道の整備	
	主要事業		道路改良事業	

■事業内容

事業目的	安全で快適な道路環境を整え、市民生活の利便性の向上を目的とします。					主な協働・関連団体等	
事業概要	自転車歩行者道の整備とともに、狭小道路の拡幅整備を行います。 ・五之三78号線 計画延長L=350m、計画幅員W=6.0m ・中央幹線2号 計画延長L=270m、計画幅員W=14.2~18.7m ・(仮称)中央幹線6号の予備設計					関連する個別計画・根拠法令等	
事業の開始・終了	開始年度		年度	終了年度		年度	

■事業費(単位:千円)

	2019年度(実績)		2019年度(計画)		2020年度(計画)		2021年度(計画)	
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)
事業内訳	道路改良工事等	131,955	道路改良工事等	120,000	道路改良工事等	190,000	道路改良工事等	170,000
	(補助額)	11,778	(補助額)	13,420	(補助額)		(補助額)	
	測量設計等	11,053	測量設計等	10,000	測量設計等	10,000	測量設計等	30,000
	(補助額)	0	(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	事業費(直接経費)	143,008	事業費(直接経費)	130,000	事業費(直接経費)	200,000	事業費(直接経費)	200,000
	(補助額)	11,778	(補助額)	13,420	(補助額)	0	(補助額)	0

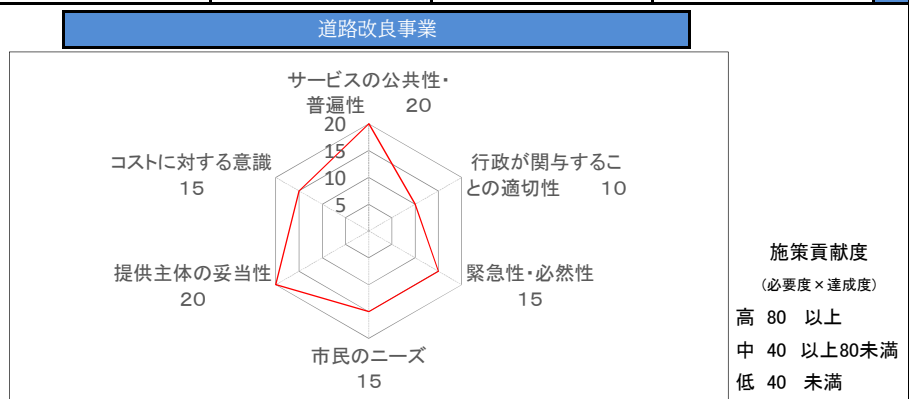
成果指標	単位	現状値	各年度の実績値					目標値(目指す方向性)	
		(2017年度)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2028年度	
(1) 都市計画道路改良率	%	44.7						→	↗
(6) 市道改良率	%	47.0	47.4					↗	↗
(6) 市道舗装率	%	93.5	93.5					↗	↗
(7) 橋りょう修繕箇所(累計)	橋	12						19	24

指標の分析 市道整備の実施により市道改良率が向上しました。市道舗装率については、舗装道路延長も増加したが市道延長も増加したことにより変化はありませんでした。今後も市民生活に必要な道路整備を実施します。

■事業の評価

サービスの公共性・普遍性	行政が関与することの適切性	緊急性・必然性	市民のニーズ	提供主体の妥当性	コストに対する意識	配点
評価の選択 ①	評価の選択 ③	評価の選択 ②	評価の選択 ②	評価の選択 ①	評価の選択 ②	
①原則として全市民に提供されており、日常生活に欠かせないサービス	①法令・条例・規則等により実施が義務付けられている事務・事業	①災害等緊急事態への対応、首長のマニフェストなどにより最優先で実施すべきと考えられる事務・事業	①議会や市民から要望が強く早期に実施する必要がある	①公権力の行使に当たるなど、市が自ら実施すべき事務・事業	①必要最低限の経費で取り組んでおり、成果の向上が図られている事務・事業	20
②原則として全市民に提供されるサービスであるが、日常生活では選択の可能性があるサービス	②国、県、市等の共同実施による事務・事業	②日常的に安全・安心な生活を確保するために、優先的に実施すべきと考えられる事務・事業	②時代の変化とともに市民のニーズが増加している	②事業の一部を民間委託しており、適切に運営されている事務・事業	②コスト削減の余地がない事務・事業	15
③一定の個人や団体等に提供され、日常生活に欠かせないサービス	③民間では実施できない、または民間では実施していない事務・事業	③現時点での緊急性や切実度は低いものの、将来のために現在から実施した方が良いと考えられる事業	③市民のニーズが維持傾向であり、安定的にある	③事業の一部または全部を民間委託した方が市場性・効率性からも良いと考えられる事務・事業	③事務の効率化・改善に取り組んでおり、今以上のコスト削減が難しい事務・事業	10
④一定の個人や団体等に提供されるサービスであるが日常生活では選択の可能性があるサービス	④民間に同様または代替できるサービスがあるが、質・量等が不足するため、これを補完する事務・事業	④時代の変化などにより現在では実施しなくても良いと考えられる事務・事業	④時代の変化等により市民のニーズが減少傾向であり、事務・事業に対する要望や要求が顕著とはいえない	④事業の一部または全部を民間委託すべきと指摘や検討がされているものの、委託に至っていない事務・事業	④例年規模の予算計上をほぼ継続している事務・事業	5

サービスの公共性・普遍性	20
行政が関与することの適切性	10
緊急性・必然性	15
市民のニーズ	15
提供主体の妥当性	20
コストに対する意識	15
評価点	95
必要度	95
達成度	0.9
施策貢献度	高



事業実施状況に関する所見		その他
課長	今後も現状(計画・予定)どおり事業を進めることが妥当と考えられます。	

第2次総合計画・実施計画事業評価シート

事業No	実施計画に係る事業名	課	グループ	作成日
(7)	橋りょう整備事業	土木課	維持管理グループ	令和2年6月26日

■総合計画の位置づけ

基本計画	基本目標	5	【都市基盤】 良好な都市基盤が整った便利で快適に暮らせるまち	重点施策
	施策目標	2	道路・交通網の充実	
	主要施策	7	橋りょうの維持管理	
	主要事業		橋りょう整備事業	

■事業内容

事業目的	安全に通行できる橋りょうを整備し、快適な市民生活の確保を目的とします。				主な協働・関連団体等	
事業概要	定期点検結果において、早期に修繕が必要と診断された橋りょうについて、修繕の優先順位を定めて計画的な修繕・補強を行います。				関連する個別計画・根拠法令等	橋梁長寿命化修繕計画
事業の開始・終了	開始年度	年度	終了年度	年度		

■事業費(単位:千円)

事業内訳	2019年度(実績)		2019年度(計画)		2020年度(計画)		2021年度(計画)	
	内訳(具体的な内容)	事業費(直接経費)	内訳(具体的な内容)	事業費(直接経費)	内訳(具体的な内容)	事業費(直接経費)	内訳(具体的な内容)	事業費(直接経費)
橋梁工事請負費		24,763	橋梁工事請負費	47,300	橋梁工事請負費	40,000	橋梁工事請負費	40,000
(補助額)		10,586	(補助額)	38,187	(補助額)	31,587	(補助額)	31,587
橋梁点検委託料		22,859	橋梁点検委託料	30,000	橋梁点検委託料	30,000	橋梁点検委託料	30,000
(補助額)		12,100	(補助額)	16,500	(補助額)	16,500	(補助額)	16,500
測量設計委託料		167	測量設計委託料	9,000	測量設計委託料	9,000	測量設計委託料	9,000
(補助額)		0	(補助額)		(補助額)		(補助額)	
(補助額)			(補助額)		(補助額)		(補助額)	
(補助額)			(補助額)		(補助額)		(補助額)	
事業費(直接経費)		47,789	事業費(直接経費)	86,300	事業費(直接経費)	79,000	事業費(直接経費)	79,000
(補助額)		22,686	(補助額)	54,687	(補助額)	48,087	(補助額)	48,087

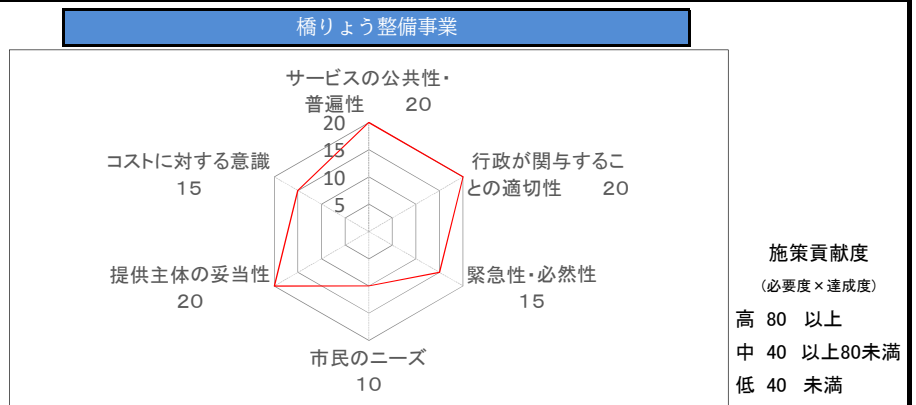
成果指標	単位	現状値	各年度の実績値					目標値(目指す方向性)	
		(2017年度)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2028年度	
(1) 都市計画道路改良率	%	44.7						→	↗
(6) 市道改良率	%	47.0						↗	↗
(6) 市道舗装率	%	93.5						↗	↗
(7) 橋りょう修繕箇所(累計)	橋	12	12					19	24

指標の分析 各年度の点検結果も踏まえ、順次橋梁を修繕していますが、同一の橋を複数年にわたり修繕しているため、橋数としての変更はありませんでした。今後は重要度と緊急性を総合的に判断し、優先順位の高い橋梁から修繕を実施します。

■事業の評価

サービスの公共性・普遍性	行政が関与することの適切性	緊急性・必然性	市民のニーズ	提供主体の妥当性	コストに対する意識	配点
評価の選択 ①	評価の選択 ①	評価の選択 ②	評価の選択 ③	評価の選択 ①	評価の選択 ②	
①原則として全市民に提供されており、日常生活に欠かせないサービス	①法令・条例・規則等により実施が義務付けられている事務・事業	①災害等緊急事態への対応、首長のマニフェストなどにより最優先で実施するべきと考えられる事務・事業	①議会や市民から要望が強く早期に実施する必要がある	①公権力の行使に当たるなど、市が自ら実施すべき事務・事業	①必要最低限の経費で取り組んでおり、成果の向上が図られている事務・事業	20
②原則として全市民に提供されるサービスであるが、日常生活では選択の可能性があるサービス	②国、県、市等の共同実施による事務・事業	②日常的に安全・安心な生活を確保するために、優先的に実施すべきと考えられる事務・事業	②時代の変化とともに市民のニーズが増加している	②事業の一部を民間委託しており、適切に運営されている事務・事業	②コスト削減の余地がない事務・事業	15
③一定の個人や団体等に提供され、日常生活に欠かせないサービス	③民間では実施できない、または民間では実施していない事務・事業	③現時点での緊急性や切実度は低いものの、将来のために現在から実施した方が良いと考えられる事業	③市民のニーズが維持傾向であり、安定的にある	③事業の一部または全部を民間委託した方が市場性・効率性からも良いと考えられる事務・事業	③事務の効率化・改善に取り組んでおり、今以上のコスト削減が難しい事務・事業	10
④一定の個人や団体等に提供されるサービスであるが日常生活では選択の可能性があるサービス	④民間に同様または代替できるサービスがあるが、質・量等が不足するため、これを補完する事務・事業	④時代の変化などにより現在では実施しなくても良いと考えられる事務・事業	④時代の変化等により市民のニーズが減少傾向であり、事務・事業に対する要望や要求が顕著とはいえない	④事業の一部または全部を民間委託すべきと指摘や検討がされているものの、委託に至っていない事務・事業	④例年規模の予算計上をほぼ継続している事務・事業	5

サービスの公共性・普遍性	20
行政が関与することの適切性	20
緊急性・必然性	15
市民のニーズ	10
提供主体の妥当性	20
コストに対する意識	15
評価点	100
必要度	100
達成度	0.9
施策貢献度	高



事業実施状況に関する所見		その他
課長	今後も現状(計画・予定)どおり事業を進めることが妥当と考えられます。	